

## 塚ノ杵池で採集されたトビケラ (予報)

野崎隆夫\*

「川虫」としてよく知られるトビケラの中には、湖沼などの止水に生息する種も少なくないが、その調査例は河川のような流水に比べると少なく、特に、ため池のような里山や平地の小規模な止水の調査例は非常に乏しい(野崎, 2001)。名古屋市名東区猪高緑地にある塚ノ杵池は比較的良好な環境が保たれているが、外来の水草が繁茂しその生態系への影響が懸念され、名古屋市では2011年秋にこの池の池干しを行いこの水草の除去を行う計画がある。そこで、たまたま実家がこの池の近くにある筆者は、池干しがトビケラ相にどのような影響を及ぼすのか調べるため、まずこの池のトビケラ相を調べることにした。まだ調査を開始したばかりで、秋に二度灯火採集を行ったのみであるが、予報として採集されたトビケラの種類相を簡単に報告する。

1. マツイヒメトビケラ *Hydroptila phenianica* Botosaneanu  
43♂40♀, 11.IX.2010; 5♂11♀, 2.XI.2010.
2. クロオトヒメトビケラ *Orthotrichia tragetti* Mosely  
57♂51♀, 11.IX.2010. 日本では北海道からのみ知られ、本州からの正式な記録はこれが初めてであるが、止水域に広く分布すると思われる。
3. クダトビケラ属の1種 *Psychomyia* sp.  
1♂1♀, 11.IX.2010. ウルマークダトビケラ *P. acutipennis* とされる種であるが、分類学的に再検討を要する。幼虫は流水性であるので、池外から飛来した可能性が強い。
4. コガタシマトビケラ *Cheumatopsyche brevilineata* (Iwata)  
3♂5♀, 11.IX.2010. 都市河川などにも分布するが、幼虫は流水性なので池外から飛来したと思われる。
5. アオヒゲナガトビケラ *Mystacides azureus* (Linnaeus)  
1♂1♀, 11.IX.2010.
6. ゴマダラヒゲナガトビケラ *Oecetis nigropunctata* Ulmer  
3♂1♀, 11.IX.2010.
7. セグロトビケラ *Limnephilus fuscovittatus* Matsumura  
2♂1♀, 2.XI.2010.

今のところまだ7種しか採集されていないが、村上(1986)が幼虫でムネカクトビケラ *Ecnomus tenellus* Rambur (原著では *E. omiensis*) とホソバトビケラ *Molanna moesta* をこの池をはじめ5つの池を有する猪高緑地から記録していること、トビケラ成虫が多く羽化する初夏の調査をまだ行っていないことから、今後調査が進めばさらに種数が増えるのは確実と思われる。

### 引用文献

- 野崎隆夫(2001): 里山のトビケラ, 昆虫と自然, 36(11): 14-17.  
村上哲生(1986): 猪高緑地内の池の魚類と底棲生物, ため池の自然, 4: 7-8.

\*神奈川県二宮町